

※本テキストの動画は見ただけで字がうまくなる3つのポイントをご覧ください。

point01 正しい紙の位置

右利き



左利き



正しい紙の位置は利き腕の延長線上に置きましょう。

右利きの人であれば、正面よりやや右側、

左利きの人であれば、正面よりやや左側に置くのが正解です。

正しい位置に紙を置くと、書いている途中に自分がどんな線、字を書いているかしっかりと見ることができ、書きやすくなります。

正面



利き腕と反対



見るだけで字がうまくなる3つのポイント

紙の位置が正しくないと、
手で字が隠れてしまう！！



その結果・・・

- ✗ 姿勢が悪くなる
- ✗ 字がナナメに曲がる
- ✗ 文章がガタガタになる

※本テキストの動画は見ただけで字がうまくなる3つのポイントをご覧ください。

point02

書き分けのコツ～漢字・ひらがな・カタカナ・数字・アルファベット～

「字が上手になりたい！でも何からスタートしたらいいの？」
という方におすすめのポイントです。

わたしたちが普段つかう文字には、いろんな種類があります。

「漢字・ひらがな・カタカナ・数字・アルファベット」

じつは、それぞれ「書き方のコツ」が違います。

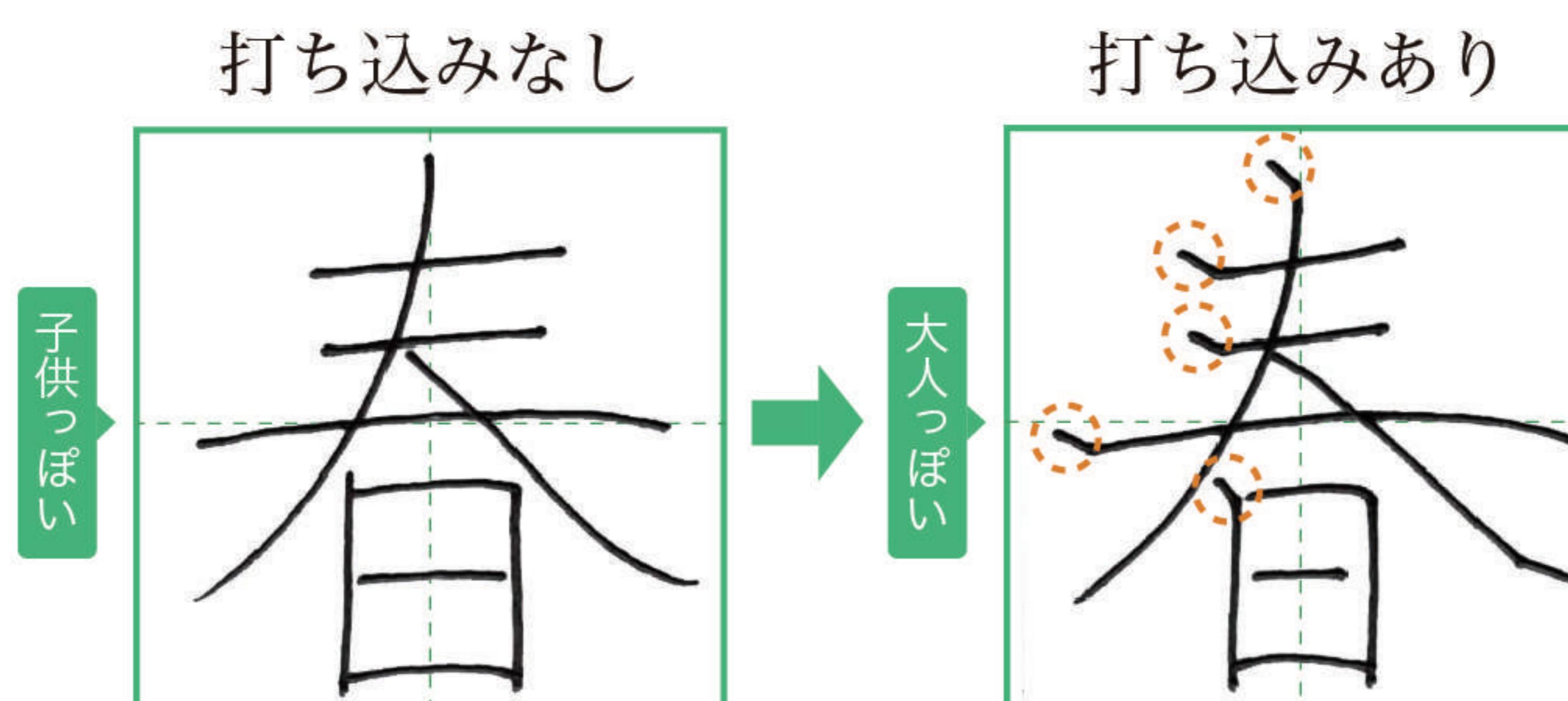
文字の種類ごとに「書き分け」ができると、「文章にメリハリ」が出て読みやすくなります。

3つのグループに分けてご紹介します。

① 漢字・カタカナ 「打ち込みを入れる」

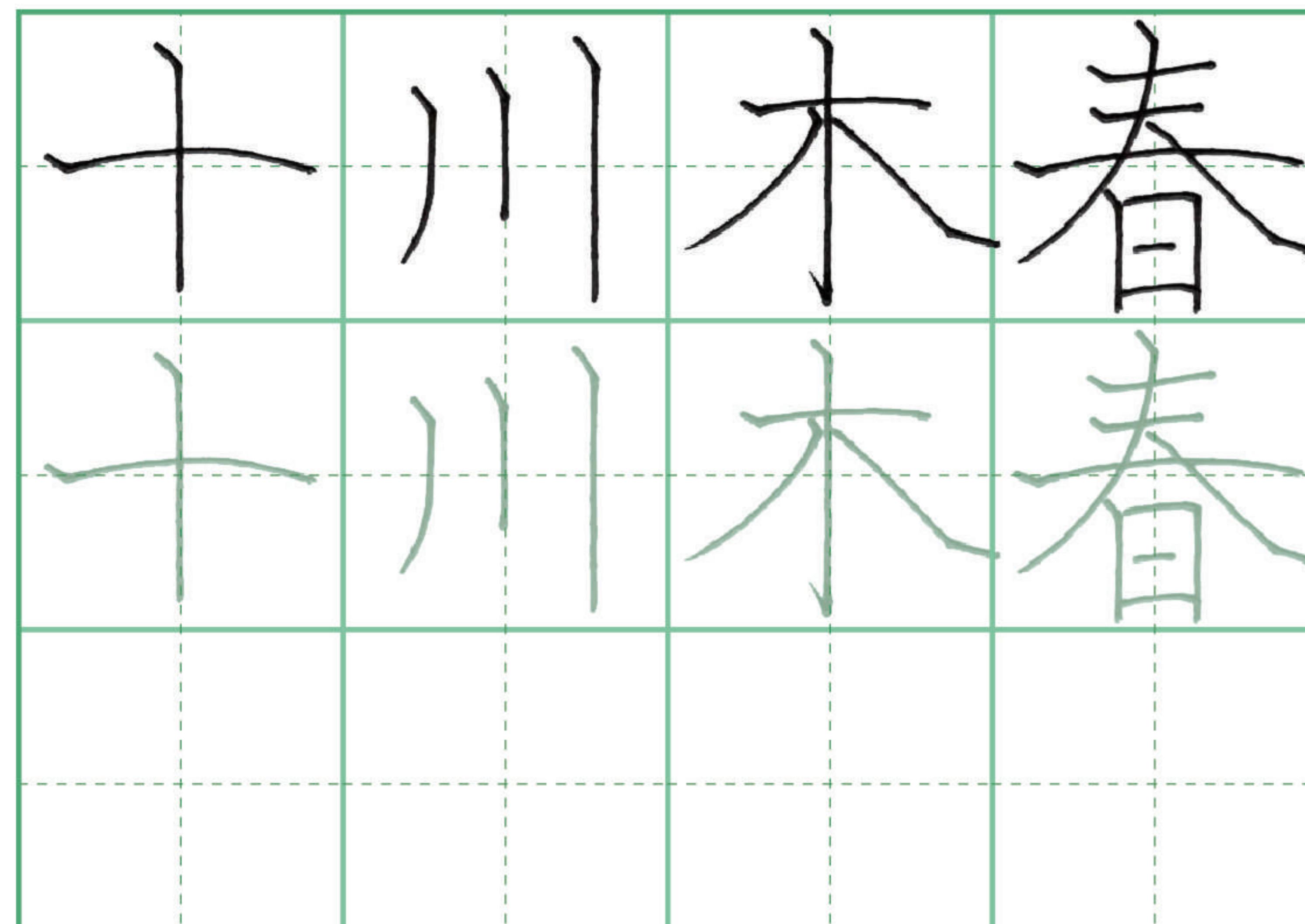
タテ線・ヨコ線・ハライの
書き始めに、斜め45度の
「打ち込み」を入れましょう。

字が書きやすく、
大人っぽい文字に変化します。

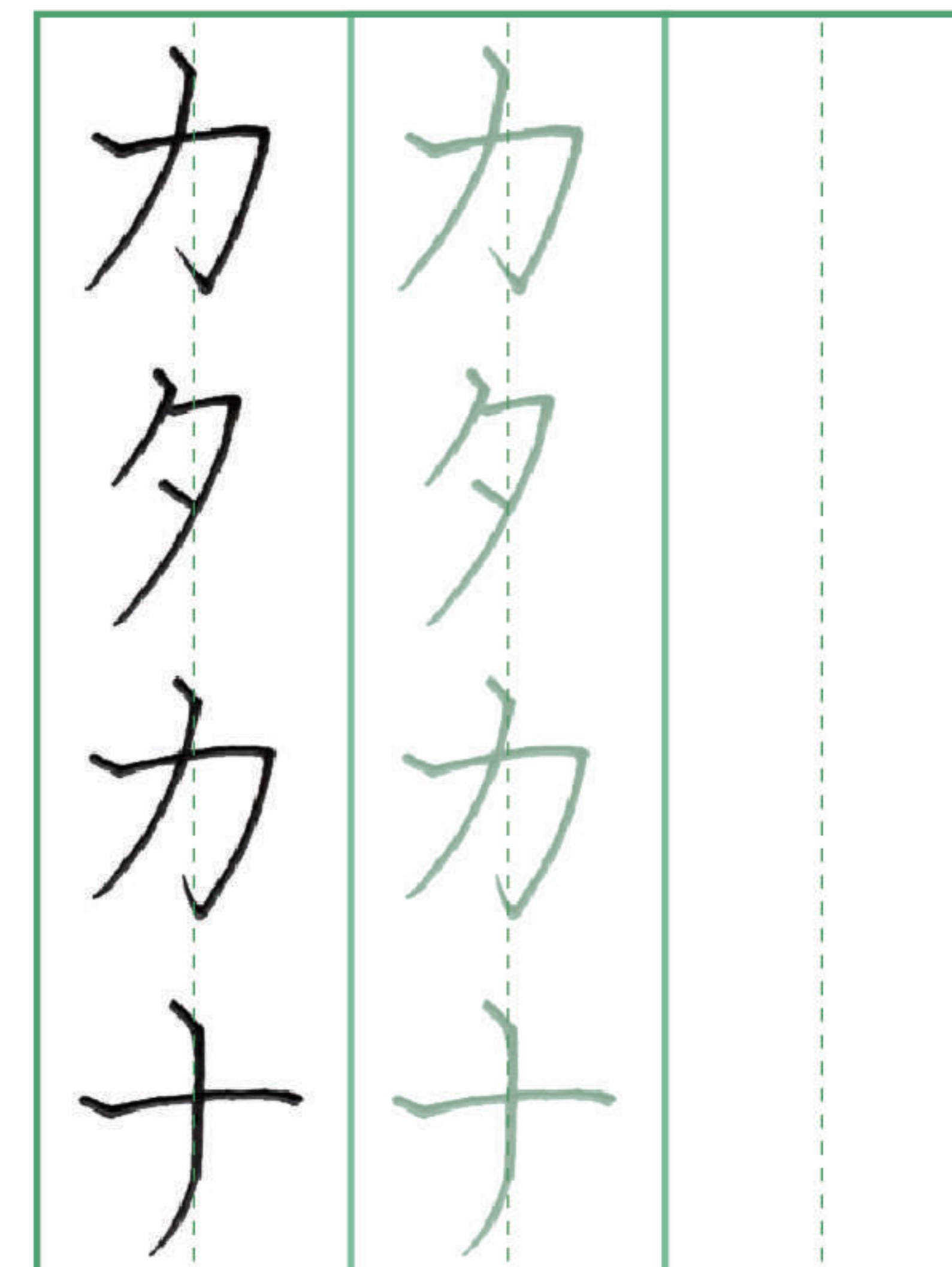


練習してみよう！

漢字



カタカナ



見るだけで字がうまくなる3つのポイント

※本テキストの動画は見ただけで字がうまくなる3つのポイントをご覧ください。

② ひらがな「打ち込みを入れない」

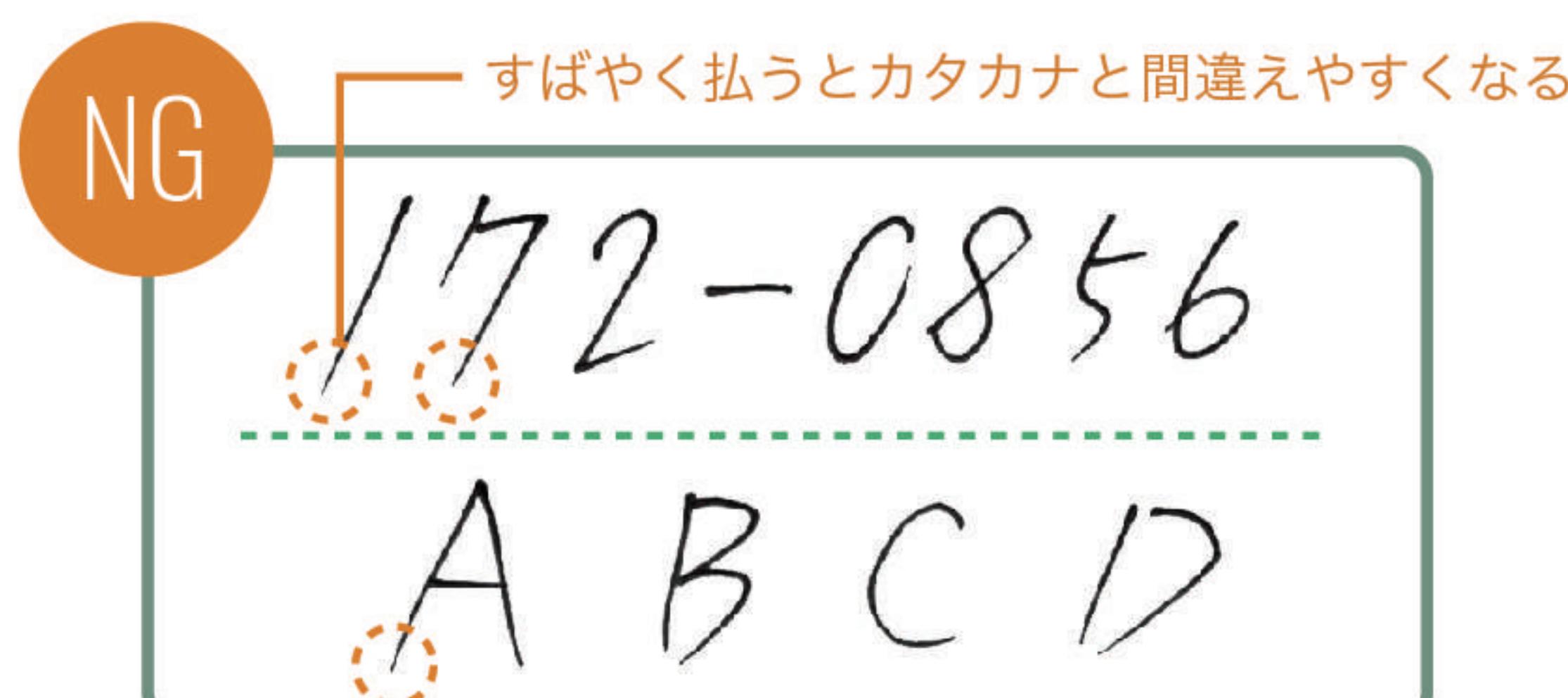
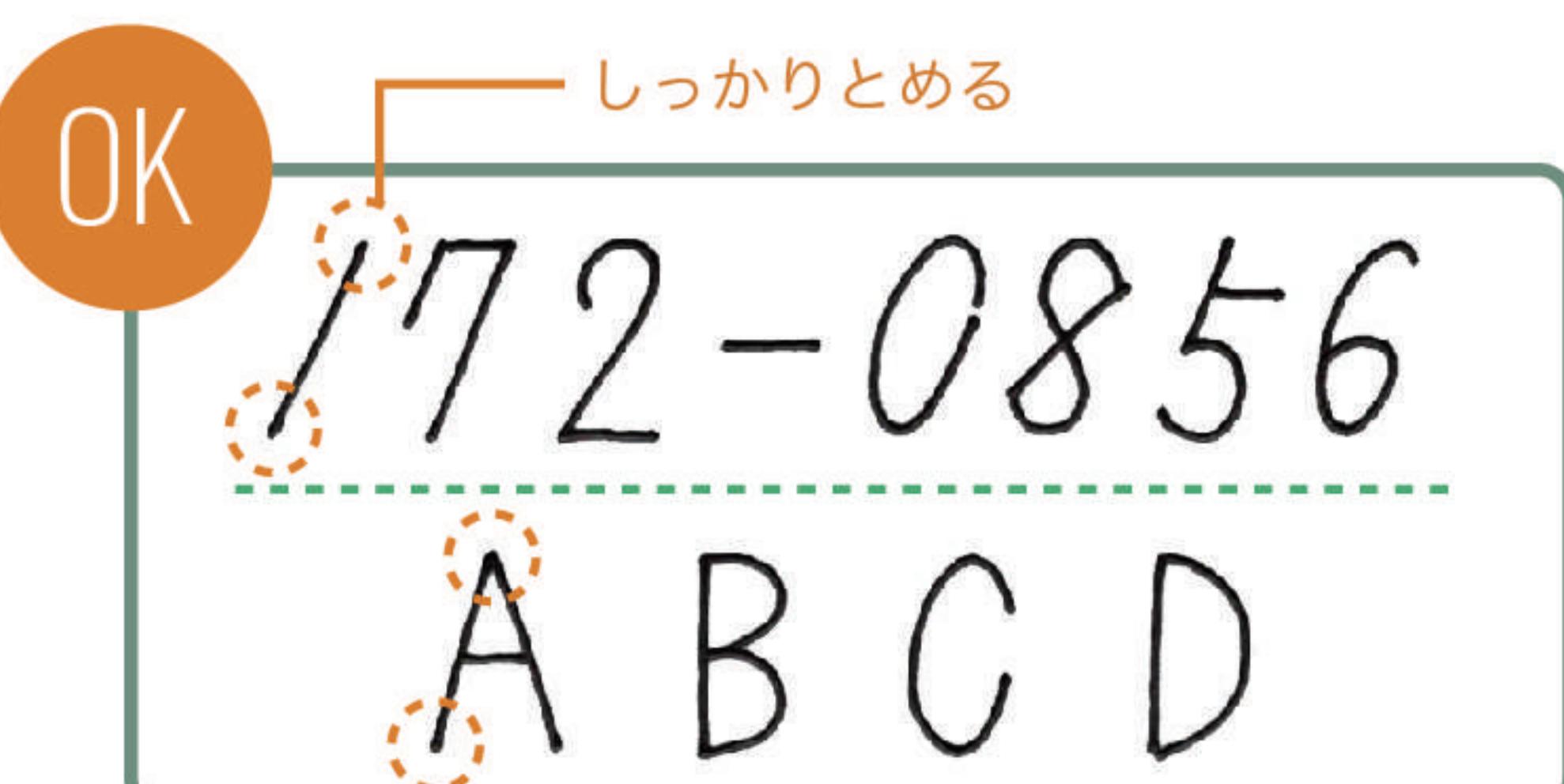
ひらがなは、①漢字・カタカナと違い、「打ち込み」を入れません。
打ち込みを入れてしまうと、すこしカチッとした、かたい印象になり
子どもっぽい文字になってしまいます。

丸く、やわらかい線をイメージすると、大人っぽいひらがなになります。

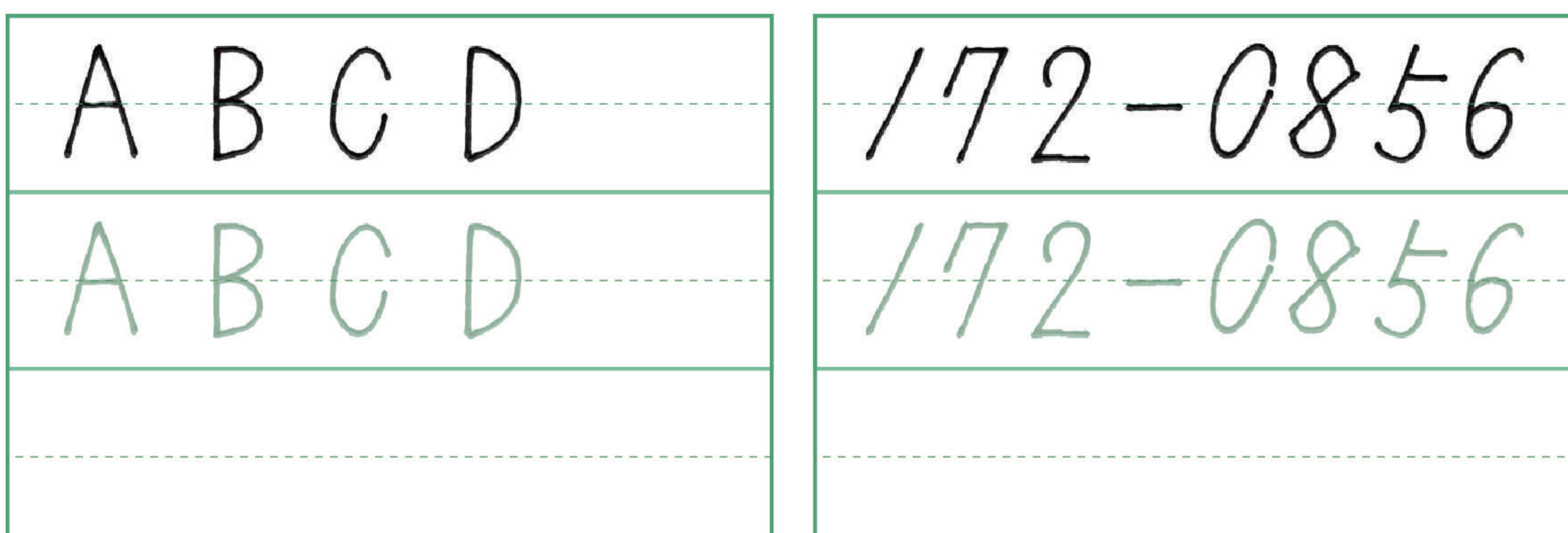


③ 数字・アルファベット「線をまとめて書く」

数字とアルファベットは、「書き始めと書き終わりをしっかりとめる」
ことが大切。読みやすくなります。



練習してみよう！



見るだけで字がうまくなる3つのポイント

※本テキストの動画は見ただけで字がうまくなる3つのポイントをご覧ください。

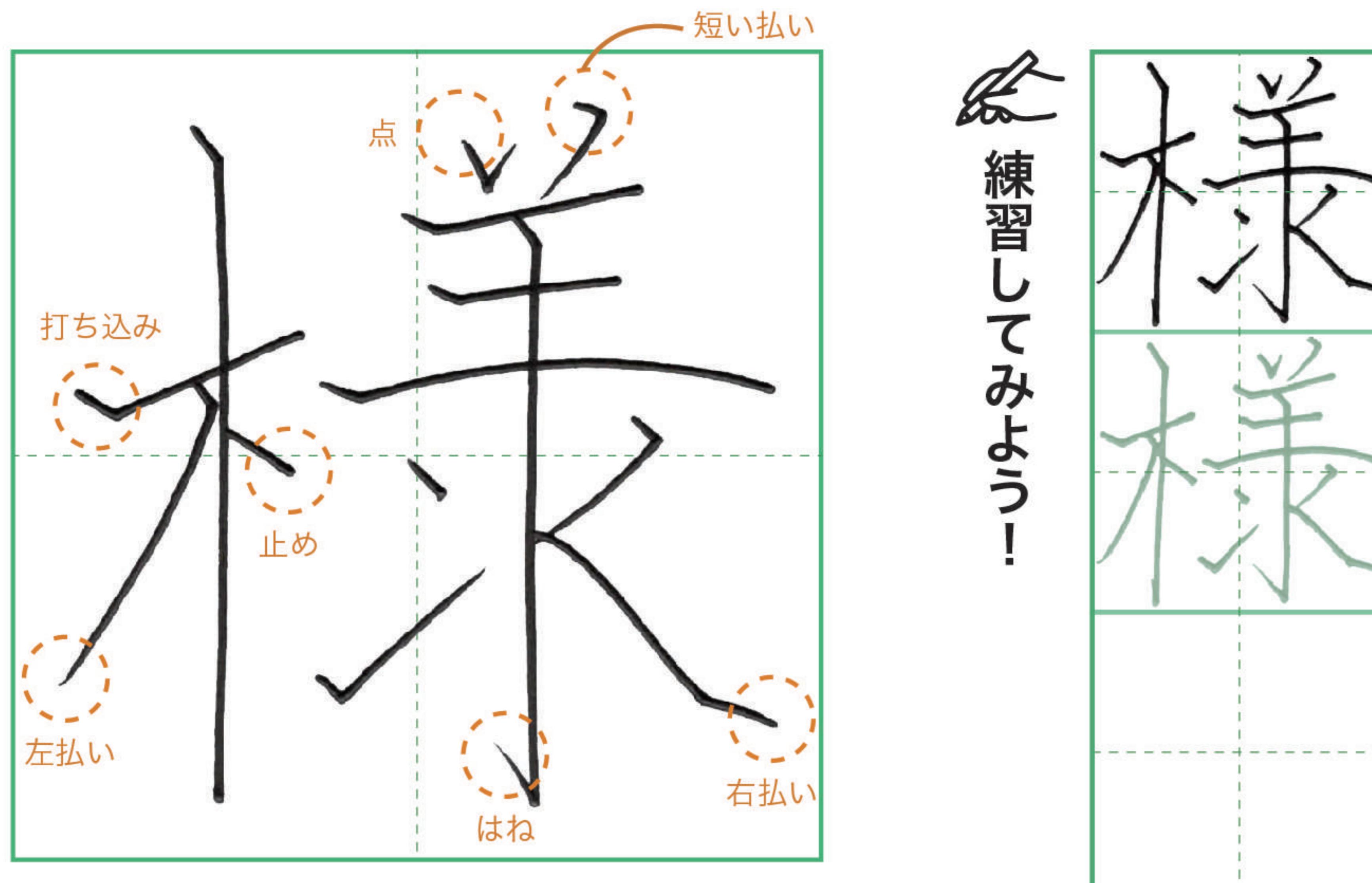
point03 最強の漢字「様」

たった一文字の練習で字がうまくなる漢字「様」。

その理由は「様」には

「打ち込み」「左ハライ」「トメ」「点」「短いハライ」「はね」「右ハライ」など
字が上達するために必要な要素がたっぷり入っているんです。

また「様」は季節の手紙や年賀状など実用的なシーンで使える文字です。
しっかりマスターしましょう！



見るだけで字がうまくなる3つのポイント